

ナンチク杯・キッズサッカー大会 垂水 SSS 優勝！！



2月14日、曾於市で行われた2021ナンチク杯・キッズサッカー大会「春」で、垂水サッカースポーツ少年団が見事Bクラス優勝を果たしました。本大会は小学校低学年の子どもたちに「サッカーの楽しさ」と「仲間とのふれあい」体験してもらうことを目的に実施されているものです。当日、子どもたちは楽しそうに、一生懸命にプレーしていました。今後ますます「サッカーの楽しさ」を感じ、活躍することを期待します。

【団員を募集しています！】興味のある方は下記まで！
垂水サッカースポーツ少年団 takano0408k@yahoo.co.jp

垂水市建設業組合青年部 マイロード清掃活動



2月27日、垂水市建設業組合青年部の皆さんが、マイロード周辺の清掃活動を行いました。この活動は、同青年部の「きれいで、気持ちのいいまちにしたい」との思いから行われているものです。今回は15人の皆さんが参加され、ウォーキングや生活道として利用される方の多いマイロード周辺のゴミ拾いを行い、綺麗にさせていただきました。その他、同青年部では福祉施設の清掃活動や子どもたちへの出前授業なども行っており、市内の様々な場面で活躍されています。

コスモス苑・中央病院へ メッセージカード贈呈



1／メッセージカードを持つ職員と園児たち 2／メッセージカードを手渡す様子

2月26日、新城こども園の園児たち、鹿実サッカー部、鹿屋地域事務所の皆さんから、コロナ禍で日々頑張っておられる医療福祉従事者の皆様へ、メッセージカードの贈呈が行われました。当日は、園児たちから「頑張ってください！」と応援の言葉が送られ、職員は「頑張ります！」と答えていました。園児たちは「コロナに負けないで頑張してほしいです」と話し、鹿実サッカー部は「いつもお世話になっている垂水市に何かできることはないか」と思い、メッセージを送らせていただきました」と話しました。メッセージを受け取られたコスモス苑の職員は「子どもたちをはじめ、皆様からの応援が本当に力になっています」と話しました。この他にも、多くの方々からメッセージが送られているようです。

3月3日午後7時30分頃、新型コロナウイルスの早期収束と医療従事者および関係者の皆様への感謝と労いを込めて、城山団地上空に約5分間にわたり花火が打ち上げられました。これは、「思いやり活動まるごみ薩摩本部実行委員会」が企画したもので、代表の原田さんはこれまでも、垂水市内におけるごみ拾い活動や、被災地への物資支援活動の際、垂水市内の企業や団体と連携した取組などの活動実績があります。思いやりの活動に心から感謝申し上げます。



コロナ収束を願い
医療従事者への感謝を

和田華月さん（協和小学校5年生）が所属する肝属女子チームが、全日本小学生選抜女子ソフトボール大会鹿児島県予選会を見事勝ち抜き、全国大会出場を決めました。肝属女子チームは、大隅地域の各小学校から選手が集まり結成されているチームで、和田さんはピッチャーとして活躍しています。大会の目標を聞くと、「仲間を信頼して、打たれてもいいから、めげずに投げたいです」と話しました。全国大会でのますますの活躍を期待します。



和田華月さん
全国大会出場！